

とやま

県広報とやま

2001

1
月号

各世帯配布版 No.380

富山県

特集 県政2000 一年のできごと

クローズアップ 平成12年度 県政世論調査

とやま発
H12.12.12
全国発信

語り台おう「21世紀 わたしたちの夢」
12歳夢フォーラム





富山県知事

中 沖 豊

新世紀に

スーパージャンプ 大飛躍!

明けましておめでとうございます。新世紀の幕開けとなる輝かしい初春を、県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

昨年の知事選挙におきまして、県民の皆様のご支援をいただき、引き続き県政を担わせていただくことになりました。

二十一世紀の県づくりの基礎を築かなければならない重要なときであり、改めて責任の重さを痛感しております。これからも、初心忘れることなく、ふるさと富山県の限らない発展と県民の皆様の一層のしあわせのために、全力を尽くしてまいります。

さて、二十世紀を締めくくる年に開催された「2000年とやま国体」と「きらりんびっく富山」は、多くの感動と思い出を残して、盛況のうちに幕を閉じました。大会では、念願の男女総合優勝と女子総合優勝を果たし、天皇杯、皇后杯を獲得することができ、県史に残るすばらしい祭典となりました。大会運営などにご尽力いただいた皆さんや県民の皆様に、心からお礼を申しあげます。この大会は、まさに県民みんなの成功であったと思います。これを契機に、富山県が明るく元気に発展を遂げ、しあわせに生きる福祉社会が実現するよう全力で取り組みたいと存じます。

二十一世紀を迎えた今、時代は大きな変革期にあります。こうしたときこそ、明確なビジョンを持ち、これを着実に実行していかなければなりません。

とくに、今年は、二十一世紀初頭の県づくりの指針となる新しい総合計画(富山県民新世紀計画)がスタートする年であります。先般、総合開発審議会において中間報告がとりまとめられ、政策の柱として「人材」「生活」「環境」「産業」「国際」の「五つの立県構想」が示されました。

今後とも、県民の皆様と力を合わせ、水と緑といのちが輝く、元気でしあわせな富山県をめざしていきたいと考えております。

このためには、第一に、元気で心豊かな子どもを育てる教育などの人材育成、第二に、北陸新幹線などの交通基盤の整備、第三に、情報(IT)やバイオなどの新しい産業の振興といった重点課題に積極的に取り組んでいくことが極めて重要です。

また、これらの施策を着実に実行していくため、住民と地方が主役となる「地方集権」と、効率的な行政運営をめざす「行財政改革」を強力に推進していきます。

今年、巳年。新たな躍動が始まる年、福徳もたらされる繁栄の年であるといわれています。西暦二〇〇一年に、県民の皆様が元気に活躍し、富山県が大きく飛躍(スーパージャンプ)しますよう願ってやみません。

皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈りしまして、新年のあいさつといたします。

特集 県政2000 一年の できごと

特集 県政2000 一年のできごと

西暦2000年は、新しいミレニアム(千年紀)の始まりの年であり、同時に20世紀を締めくくる年でもありました。この記念すべき節目の年に「2000年国体」が開催されるなど、県では昨年、「人づくり」「郷土づくり」「産業づくり」の政策の柱に基づき、21世紀に飛躍する、元気で明るい県づくりを進めました。ここでは、昨年一年間の県政を振り返ってみましょう。

I 明日を拓く人づくり

健康・福祉の増進

■高齢者の介護を社会全体で支える介護保険制度が四月からスタート。老人福祉施設などの整備や中山間地域でのホームヘルパー車両の導入に対し助成するとともに、相談、苦情処理体制を整



参加の大会となり、多くの感動と思いが生まれました。また、天皇皇后両陛下や皇族の方々のご来県さ

感動の祭典 2000年国体

■二月の冬季大会で幕を開けた2000年とやま国体。九月の夏季大会、十月の秋季大会と、一年を通して全国の精鋭が熱戦を展開しました。本県選手団もめざましい活躍をし、本県初の男女総合優勝(天皇杯)と女子総合優勝(皇后杯)の栄冠を獲得。ボランティアや民泊の受入れ、温かい応援など県民総

れ、心温まる感動を残されました。



北日本新聞社提供

■2000年とやま国体の感動もさめやらぬなか、きらりんびっく富山が皇太子ご夫妻をお迎えして開催され、七競技で熱い戦いが繰り広げられました。約一万人のボランティアや応援サポーターなど多くの県民の皆さんが大会に参加し、選手の皆さんとの心と心のふれあいの輪が広がりました。

■この2000年国体で発揮された県民の皆さんの大きな力を活かし、生涯を通じてスポーツの振興や競技力の維持向上、ボランティア活動の推進に積極的に取り組むことにしています。

備するなど、制度の円滑な運営に努めました。

介護サービスの相談窓口
富山県国民健康保険団体連合会
076431-98833

■高齢者が健康で生きがいを持ちながら、いきいきと安心して暮らせる社会づくりをめざし、富山県高齢者保健福祉計画を策定しました。



教育・生涯学習の推進

■JR富山駅の身体障害者対応エレベーターの設置や福祉タクシー車両の導入に対し助成するなど、福祉のまちづくりを進めました。

■第三子以降の保育料の軽減を二歳児まで拡大するとともに、延長保育や一時保育を充実したほか、一歳児から三歳児までの通院医療費に対し助成するなど、子育て家庭を支援しました。

■中学二年生が学校外で職場体験やボランティア活動などを行う社会に学ぶ14歳の挑戦事業を大幅に拡充するなど、地域社会全体で子どもたちの豊かな心を育てる教育を進めました。



■定時制単位制高校として、新川みどり野高校、となみ野高校を新設するとともに、両校に県民生涯学習カレッジ地区センターを併設した生涯学習校を開校(平成十三年四月)することにしました。

科学・文化の振興



■八月に2000年とやま世界こども演劇祭が開催されました。「わたしたちが未来をきづく」のテーマのもと、世界二十四カ国の子どもたちが富山に集い、こ とばを超えた交流と感動が生まれました。

■大山町で国内初となるアンキロサウルス類の恐竜足跡化石が発見されました。また、氷見市の柳田布尾山古墳が国の史跡に指定されることにも、高岡市山町筋が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



アンキロサウルス類の恐竜足跡化石

明るく元氣な社会の実現

■元氣に富山推進懇話会を設置し、県民の皆さんが活力を発揮し、富山県がもつともっと元氣になるような取組みについて幅広く検討しました。

交通・情報通信体系の整備

■北陸新幹線については、政府・与党整備新幹線検討委員会において、長野・富山間をフル規格で整備し、今後概ね十二年強後の完成をめざすことなどが合意されました。また、南越までのフル規格による早期整備に向けて北陸四県とJR西日本が一致協力して取り組んでいくことを確認したほか、県内では、沿線市町が行う地域振興事業に対し助成するなど、建設促進の体制・制度を強化しました。



北陸新幹線(高岡・長野間)

■北陸自動車道の全線四車線化、東海北陸自動車道の五箇山IC―福光IC間と能越自動車道の高岡IC―福岡IC間の開通など、高速道路網が充実しました。



七月に開通した能越自動車道高岡IC

■国道三六〇号細入バイパス(越路トンネル)の開通や国道三五九号婦中大橋の四車線化など、計画的な道路整備を進めました。

子どもとやま県議会や12歳立山登山

■子どもとやま県議会や12歳立山登山、12歳夢フォーラムなど、子どもたちが心豊かにたくましく成長していくための事業を実施しました。また、子ども政策県民会議を設置し、子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりを進めるなど、総合的な子ども施策に取り組みました。



12歳立山登山

■高齢者仲間づくり支援相談員を置き、高齢者のサークル活動を応援するとともに、高齢者NPO(特定非営利活動法人)の育成に取り組みなど、元氣な高齢者の活動を支援しました。

■県民一人ひとりの人権が守られ、安全で心豊かに暮らせる社会の実現をめざし、「人権教育のための国連十年」に関する富山県行動計画を策定しました。

■男女がともに自分の個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の形成を進めるための条例や、その実現に向けた基本方針となる計画づくりに取り組みました。富山県男女共同参画センター(サテライト)での家庭大工サークル



富山県男女共同参画センター(サテライト)での家庭大工サークル

■伏木富山港の新湊地区で、コンテナ貨物の増加や船舶の大型化に対応できる多目的国際ターミナルの整備を進めました。

■中国地方への初めての航空路線として、富山―広島西便が三月に就航(季節運行)しました。

■県内全八局のケーブルテレビのネットワーク化を支援しました。また、介護・保健・医療・福祉分野でのケーブルテレビの有効活用について検討しました。

国際化時代の対応

■富山県とブラジル・サンパウロ州との友好提携十五周年を記念して、親善訪問団を派遣するなど、両県州の相互理解と友好交流を一層深めました。



■日本海側で初めての国際機関NOWPAP(北西太平洋地域海洋行動計画)の本部事務局が富山に設置されることになりました(韓国・釜山と共同設置)。また、環日本海政策会議を設置するなど、環日本海交流の中央拠点をめざした取組みを積極的に進めました。

魅力ある郷土づくり

快適な暮らしの実現

■ダイオキシンの類対策として、工場等への立入検査を行うなど、排出抑制指導に努めるとともに、大気・河川水・土壌等の環境調査を実施しました。また、産業廃棄物不法投棄監視連絡員を置き、不法投棄の監視活動を強化しました。さらに、富山県地球温暖化防止活動推進センターを十二月に開設しました。

■環境科学センターと県工業技術センター生活工学研究所が、環境管理の国際規格ISO14001の認証を取得しました。

魅力ある地域づくり

■県都富山市の玄関口にふさわしい都市拠点の形成をめざし、富岩運河環境公園の整備や市街地再開発事業を進めてきたことやま都市MIRAI計画の全体が七月にほぼ完成しました。



■砺波平野の屋敷林に囲まれた散居の景観を後世に守り伝えるため、散居村田園空間基本計画を策定しました。

III 活力ある産業づくり

新世紀への産業展開

■依然として厳しい環境にある中小企業を支援するため、小口事業資金の新規融資枠を拡大するとともに、県信用保証協会の経営基盤を強化しました。

■新たな融資制度として創業・ベンチャー支援資金制度をつくることにも、富山県中小企業支援センターを六月に開設するなど、新たな事業活動に取り組む中小企業を支援しました。

■科学技術庁の地域先端研究事業として、生活習慣病の予防・治療に伝統医学を活用する研究が四月に採択。国際伝統医学センターを中心に研究が進められました。

■新たな成長産業の創出を図るため、今後の成長が期待される、IT(情報通信技術)、バイオ、深層水などの産業の振興に積極的に取り組みました。特に深層水については、その利用促進を図るため、六月に分水を開始し、民間企業等で様々な製品開発が進められました。



深層水を利用した製品等に付けられることになったブランドマーク

県中央植物園に、中国雲南省の植物を紹介する雲南温室

■県中央植物園に、中国雲南省の植物を紹介する雲南温室が二月にオープン。平成十三年度から、同園と中国昆明植物研究所が、同省の貴重な植物の研究を共同で進めることになりました。



■県総合運動公園に、屋外スポーツができる屋内グラウンドが六月にオープンしました。また、海洋性レクリエーションの新しい拠点となる海竜マリンパーク(県新湊マリーナ)が九月に完成しました。



全天候型の屋内グラウンド

県土の保全と活用

■立山の大自然や動植物などを紹介する新しい立山自然保護センターが七月にオープンしました。また、子どもたちに自然への関心を深めてもらうジュニアナチュラリスト養成講座を開講しました。



■県民の生命と財産を守るため、河川改修やダム、砂防などの治水対策に積極的に取り組むなど、災害に強い県土づくりを進めました。

農林水産業の振興

■生産コストの低減や高品質で均一な米を供給するカントリーエレベーターを計画的に整備するなど、米の生産の組織化や流通の合理化を進めました。そのほか、中山間地域の振興に努めました。



平成十二年に整備されたカントリーエレベーター

■一定の基準を満たした良質な加工食品に認証マークをつける地域特産品認証制度をつくるなど、県産特産品の販売拡大を進めました。

■県植樹祭と県育樹祭を統合した第一回とやま森の祭典を五月に開催するなど、森林や林業への理解と緑化意識の高揚に努めました。



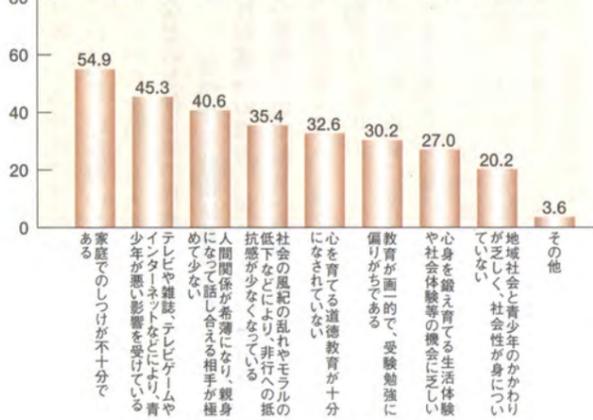
平成12年度 県政世論調査



県では、県民の皆さんが県政や日常の諸問題にどのような関心や期待をお持ちか、その状況を把握し、県政を進めるうえでの基礎資料とするため、毎年、県政世論調査を行っています。

第三十一回を迎えた今回は、県内の成年男女千二百人を対象に、調査員による個人面接方式で調査を行いました(回収率八〇・四%、回収数九百六十五人)。ここでは、その概要を紹介します。

青少年の犯罪や非行等の原因・背景について(複数回答)



子どもの育成

青少年の犯罪や非行等の原因・背景では「家庭でのしつけが不十分」がトップ。家庭での子どもの健全育成上、重要なことでは「親子の会話やふれあいの機会をもつこと」がトップ。

青少年による犯罪や非行等は、全国的に深刻な問題になっていっています。県内でも、平成十一年中に検挙補導された非行少年は、前年に比べ減少したとはいえ、千五百二十五人と依然として多くなっています。

青少年の犯罪や非行等の原因や背景に

家庭での子どもの健全育成上、重要なこと(複数回答)



家庭での子どもの健全育成上、重要なことについて聞いたところ、「親子の会話やふれあいの機会をもつこと」が五九・九%とほぼ六割、次いで「子どものしつけを学校や他人任せにしないこと」四八・八%、「過保護、過干渉をやめること」三八・七%の順となっています。

県では、家庭の教育力の充実や子どもや親に対する相談体制の充実、「心の教育」の推進など、家庭や学校、地域、行政が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組んでいくことにしています。

県政の動き (2000年1月~12月)	
1月 4日	富山県映像センターオープン
2月 17日	ゆきみらい2000とやま(~19日)
2月 18日	富山県中央植物園雲南温室オープン
2月 19日	2000年とやま国体冬季大会(~22日)
	秋篠宮ご夫妻ご来県 (2月18日~20日)
2月 29日	2月定例会議(~3月23日)
3月 1日	富山-広島西便就航
3月 27日	セーナー苑全面改築完成
4月 1日	介護保険制度スタート
	地方分権一括法施行
4月 6日	北陸職業能力開発大学校開校
4月 20日	総合開発審議会に新しい総合計画の策定を諮問
4月 21日	比美乃江大橋開通
5月 17日	富山県常盤寺川公園馬術場完成
5月 19日	第1回とやま森の祭典
5月 27日	ジュニアナチュラルリスト養成講座スタート
6月 1日	富山県中小企業支援センターオープン
	富山県建築住宅センターオープン
	子どもほっとライン開設
6月 5日	有峰林道小見線大型バス通行記念式典
6月 8日	富山県総合運動公園屋内グラウンドオープン
6月 13日	富山県深層水協議会設立
6月 20日	第1回元気に富山推進懇話会
6月 22日	国際トロッコサミット
6月 25日	衆議院議員総選挙
6月 29日	6月定例会議(~7月11日)
7月 1日	富山県立大学開学10周年記念式典
7月 5日	第1回北陸(日本)・韓国経済交流会議(~7日)
7月 19日	能越自動車道 高岡IC-福岡IC間開通
7月 21日	新しい立山自然保護センターオープン
7月 25日	第1回子ども政策県民会議
7月 28日	北陸自動車道富山西IC(仮称)起工
7月 31日	とやま都市MIRA I計画主要事業完成
8月 1日	2000年とやま世界子ども演劇祭(~7日)
	利賀サマー・アーツ・プログラム(~27日)
8月 9日	12歳立山登山(~11日)
8月 22日	子どもとやま県議会
	富山環状線神明大橋開通
8月 28日	国道360号細入バイパス開通
8月 29日	都市計画道路路草島西線田刈屋地下道開通
9月 1日	海竜マリナーパーク(県新湊マリナー)完成
9月 4日	9月定例会議(~20日)
9月 9日	2000年とやま国体夏季大会(~12日)
	秋篠宮ご夫妻ご来県 (9月8日~10日)
9月 28日	国道359号湯中大橋4車線化
9月 30日	東海北陸自動車道 福光IC-五箇山IC間開通
10月 1日	2000年国勢調査実施
10月 3日	北陸自動車道全線4車線化
10月 9日	富山県知事選挙
10月 12日	富山県・サンパウロ州友好提携15周年記念式典
10月 14日	2000年とやま国体秋季大会(~19日)
	天皇皇后両陛下ご来県 (10月13日~15日)
	桂宮さま、寛仁親王妃信子さま、高円宮ご夫妻、紀宮さま、常陸宮ご夫妻ご来県 (10月15日~19日)
10月 20日	高岡市山町筋が国重要伝統的建造物群保存地区に選定
10月 28日	きらりんびっく富山(~29日)
	皇太子ご夫妻ご来県 (10月27日~29日)
11月 6日	大町で国内初のアンキソサルス類の定跡化石発見を発表
11月 9日	中沖県政6期目スタート
11月 17日	氷見市柳田布尾山古墳が国の史跡に指定
11月 20日	第1回環日本海政策会議
11月 27日	新しい総合計画「富山県新世紀計画」の中間報告
11月 30日	第1回富山県観光戦略会議
12月 1日	富山県地球温暖化防止活動推進センターオープン
12月 4日	12月定例会議(~19日)
12月 6日	NOWPAP本部事務局の本県設置が合意
12月 12日	12歳夢フォーラム
12月 18日	北陸新幹線長野・富山間のフル規格整備等が政府・与党整備新幹線検討委員会合意
12月 20日	富山県環境科学センターと富山県工業技術センター生活工学研究所がISO14001の認証を取得
12月 31日	インターネット博覧会「世界子ども会議」開設

■ 拡幅改良工事を進めてきた有峰林道小見線が六月に通行を再開。大型バスが通行できるようにになりました。

■ 水産資源を保護するため、資源管理型漁業を進めるとともに、深層水を活用した魚介類の技術開発研究に取り組みました。

■ 工業、商業、サービスの振興、雇用対策

■ 中心市街地の賑わいを高めるイベントの開催や空き店舗を活用したギャラリーの開設を支援するなど、中心市街地の活性化を進めました。



■ 二十世紀の富山県の観光を振興するため、十一月に観光戦略会議を設置、具体的な戦略について検討していくことになりました。

■ 富山県総合的雇用対策を見直し、富山労働局などと連携しながら、民間企業による雇用の維持・創出を支援しました。また、合同就職面接会などを開催し、新規卒業者やUターン希望者の就職活動を支援しました。



■ 十月の富山県知事選挙で、中沖知事が当選。二十世紀に向けて、六期目の中沖県政がスタートしました。

■ 平成十三年度からスタートする新しい総合計画については、県民の皆さんのご意見を伺いながら策定を進め、十一月に総合開発審議会で富山県新世紀計画の中間報告がまとめられました。

■ 情報公開制度懇話会を設置し、富山県情報公開条例の見直しを進めました。

■ 四月に地方分権一括法が施行、地方集権の時代にふさわしい行政システムの確立をめざし、行財政改革を積極的に進めました。

・ 行政改革推進方針に基づき、定員適正化計画を策定・公表するとともに、組織機構の簡素合理化や事務事業の見直しを進めました。

・ 経費の節減に努めるとともに、県債の発行を抑制し、将来の公債負担の軽減を図るなど、財政の健全化を進めました。

・ バランスシート(貸借対照表)を作成し、県の財政状況を分かりやすく紹介するとともに、事業評価制度の導入に向けて取り組みました。

二十世紀に向けて

子どもたちが二十一世紀の夢と希望を語りました

12歳夢フォーラム



「12」が三つ並んだ平成十二年十二月十二日、「二十一世紀」わたしたちの夢をテーマに「12歳夢フォーラム」が、サンシップとやま（真総合福祉会館）で開催され、県内の小学六年生の子どもたちが自分の夢や希望を語り合いました。

■12歳という年齢は、身体的な成長はもうそろそろ、精神的にも自立した考え方が育ち始めることから、大人への第一歩を踏み出す節目と考えられています。

■県では、この12歳の子どもたちの健やかな成長を図るため、平成十年に「子どもたちの12歳を考える会」（座長：中尾哲雄氏）を発足。同会での提案などを踏まえて、12歳立山夢登山など、子どもたちが様々な体験を通して夢と希望を大きくむく施策を進めてきました。今回のフォーラムもその一環となるものです。

この日は、県内各地から集まった小学六年生をはじめ、教育関係者など約二百五十人が参加。開会式では、中沖知事が「子どもは未来からの贈りもの。将来に夢を

描きくらませ、富山の、そして日本の未来を担う原動力になってほしい」とあいさつしました。

■第一部「12歳の主張」では、昨年実施された「子どもとやま県議会」、「12歳立山夢登山」、「2000年とやま世界」も演劇祭などに参加した子どもたち十人が発表。「何事も途中でくじけず、最後までやり遂げることが大切だと分かった。立山のすばらしい自然を守り続けていきたい」、「世界各国の歴史や風土に触れたい」、「困っ



ている人を助けるために弁護士になりたい」などと、体験を通して感じたことや将来の夢を語りました。

■また、「豊かな自然を二十一世紀に守り伝えるために、県内の小学六年生全員が、毎年一本ずつ、学校や公園などに木を植えればよい」、「富山空港での外国の観光情報を充実してほしい」、「お年寄りといふあつこといろいろな知恵を教えてもらえるので、老人ホームを小学校の近くにつくればよい」など、県政への積極的な提言も数多く出されました。

■続いて行われた第二部「意見交換」では、第一部で発表した子どもたちに知事や「12歳を考える会」の中尾座長、長澤忠徳顧問などの大人たちが加わり、子どもたちの夢などについて一緒に考えました。その中で、小さいころ弱虫だったという子どもが、「いろいろな体験を通して得た自信と勇気を、今度はみんなに伝えたい」と力強く語り、大人が逆に教えられない場面もありました。

■フォーラムの最後で、知事が、県政を分かりやすく紹介することにも、子どもたちや家族の声を掲載する「子ども県広報（仮称）」を発行すること、富山空港の外国の観光情報を充実することなどを約束すると、会場の子どもたちから拍手が起る場面もありました。

■今回のフォーラムで印象的だったのは、子どもたちが目の前の多くの聴衆にも聴かせ、自分のことばで堂々と発表していたことです。この日参加した子どもたちはもちろん、富山の子どもたちが明るく元気に育ち、そして、みんなの夢が早く実現するよう願わずにはいられません。この機会に、大人の皆さんも子どもと同じ目線で向き合っていて、子どもを育てる大人や社会の役割について一緒に考えてみてはいかがでしょうか。



- 問合せ (財)富山県未来財団 076(444)2000
- 発表した子どもたち
- 子どもとやま県議会参加者 浅井 唯さん (高岡市立成美小学校)
 - 西山有里さん (天山町立大庄小学校)
 - 12歳立山夢登山参加者 竹林舞衣さん (魚津市立経田小学校)
 - 中島正太郎さん (富山市立月岡小学校)
 - 2000年とやま世界子ども演劇祭参加者 金岡佑子さん (富山大学教育学部附属小学校)
 - 井本梨沙さん (高岡市立下関小学校)
 - 子ども記者韓国派遣参加者 井上貴之さん (天沢野町立大沢野小学校)
 - リレー全国大会出場者 関川麻美さん (富山市立堀川小学校)
 - ボランティア推進校 的場雄将さん (氷見市立十二町小学校)
 - 永井 茜さん (福光町立福光中部小学校)

近代美術館

高山市西野町1-16 12
076(421)7111

トライ・アート2001 夢中人ワールド
[2/12(月)まで]
県内の小・中学生が共同して制作した創造性あふれる作品など、約30点を展示しているほか、現代美術を鑑賞するコーナーなど多彩な催しをしています。
一般 300円/高・大 200円/小・中 150円

9:30~17:00
月曜・祝日の翌日(2/12は開館)
常設展示観覧料
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円

水墨美術館

富山市五福777
076(431)3719

館蔵品展
[2/18(日)まで]
日頃公開することの少ない陶芸・金工・漆芸などの収蔵作品約60点を展示しています。
一般 300円/高・大 200円/小・中 150円

9:30~17:00
月曜・祝日の翌日(2/12は開館)、2/13
常設展示観覧料(展示室以外は無料)
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円

立山博物館

立山町音崎寺93-1
076(481)1216

チベットマンダラ恒例展
[2/17(土)~3/18(日)]
当館収蔵のチベットマンダラを展示し、現代にも生きる英知「マンダラ」の考え方を紹介します。
まんだら遊苑は3/31まで休苑です。

9:30~17:00
月曜・祝日の翌日(2/12は開館)、2/13
展示館 一般 300円 高・大 240円 小・中 150円
遙望館 一般 100円 高・大 80円 小・中 50円

立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
076(481)1160

フィールドウォッチング
「立山の雪を体験しよう」
[2/18(日) 13:30~16:00]
雪の結晶づくりに挑戦したり、博物館周辺に降り積もった雪の層を観察したりします。
要申込 小学3年生以上 参加無料

9:30~17:00
月曜・祝日の翌日(2/12は開館)、2/13
常設展示観覧料
一般 400円 高・大 320円 小・中 200円

こどもみらい館

小杉町黒河(太閤山ランド内)
076(56)9900

こども歳時記「節分」
おにピカパッジー
[1/20(土)~2/4(日)] 材料費50円
アルミの板に描いた鬼の絵を、たがねで打ち出して、ピカピカ光る鬼のバッジを作ります。

とやまの土人形展
[1/21(日)~3/4(日)]
富山の伝統民芸品の土人形を様々なかたちで紹介いたします。

9:30~17:00
火曜・第4水曜・祝日の翌日、2/12
入館無料

県民公園太閤山ランド

小杉町黒河4774
076(56)6116

第10回冬の親子ふれあい大会
[2/12(月) 9:00~13:00]
フリスビー、バランスゲームなど、親子で楽しめるいろんなゲームをします。
参加費(おにぎりや豚汁付き)
一般600円/小学生以下400円
申込は2/7まで

9:00~17:00
火曜・祝日の翌日(2/12は開園)
入園無料(駐車料金は3月まで無料)

中央植物園

婦中町上野田42
076(466)4187

日曜植物案内
[2/4(日) 11:00~12:00]
植物園の温室の植物を職員が解説します。

ミニ展示「パイナップルの仲間」
[2/14(水)まで]
アナナスやティランジアなど、おもしろい姿をしたパイナップルの仲間を展示しています。

9:00~16:30(2月からは17:00まで)
木曜・祝日の翌日(2/12は開園)、2/13
一般 600円 小・中 300円

自然博物館の里

婦中町吉住11
076(469)5252

特別展示「野鳥写真展」
[1/29(月)まで]

自然観察会「古代食を作り、味わう」
[2/11(祝) 9:00~13:00]
縄文時代の石器について学びながら、古代米やトチの実せんべい、寒ブナの料理などの古代食を作り、味わいます。
要申込 小学生以上 材料費 300円

9:00~16:00
火曜・祝日の翌日(2/12は開園)
入園無料

とやま健康パーク

富山市友杉151
076(428)0809

健康づくり講演会
[2/9(金) 13:30~16:30]
がんを予防するための運動処方など、生活習慣病予防の講演を行います。
講師：澤田亨氏(東京ガス健康開発センター 課長)

月曜(2/12は開館)、2/13
健康スタジアム 10:00~22:00(日・祝は19:00まで)
1日 1,800円/3時間 1,500円/2時間 1,000円
生命科学館(展示場) 9:30~17:00 200円
屋外健康づくり施設 9:30~17:00 無料
※小・中学生は半額、幼児は無料です。

県民小劇場オルビス

富山駅前マリエ7階
076(445)4531

「舞台芸術・芸能一発見ライブ in ORBIS」
アートシアターっておもしろい!
[1/23(火) 18:30~]
人形劇作家の沢則行さんを迎え、セリフのない不思議な視覚的舞台上を上演します。

詩っておもしろい!
[2/3(土) 18:30~]
ピアノの音色とともに、日本現代詩の第一人者、谷川俊太郎さんが詩を朗読します。
各3,000円(前売・当日とも) 全席自由

埋蔵文化財センター

富山市茶屋町20613
076(434)2814

企画展
「土と炎の一万年 -富山やきもの史-」
[9/6(木)まで]
縄文土器から越中瀬戸焼まで、富山の焼き物史を探ります。

常設展示
「重要文化財 富山県境A遺跡出土品」
朝日町・ヒスイ海岸を望む台地上にある縄文時代の境A遺跡から出土したヒスイ製品・石斧などを展示しています。

9:00~17:00
土曜・日曜・祝日 入館無料

らいちょうパレースキー場

大山町本宮
076(481)1633

らいちょうパレースキー祭典
[2/11(祝)・12(月)]
主な内容
2/11 山麓鍋販売、各種ゲーム、たいまつ滑降
2/12 雪の女王コンテスト、各種ゲーム

8:30~17:00 毎日ナイター営業(17:00~21:00)
3/4までの土曜・祝前日は23:00まで営業
1日券 中学生以上4,200円 小学生以下2,700円
半日券 3,000円 1,900円
ナイター券 2,300円 1,500円



とやま 音のある風景

Vol.29

宇奈月温泉街の
げたの響きと
温泉噴水
●宇奈月町

峡谷を越えて、 湯けむりは温かく

険しい山々をけずり、雄大な峡谷をつくりながら流れる黒部川のほとり。やがて、扇状地へと流れを変えるあたりに、宇奈月温泉街の建物が建ち並ぶ。源泉は、約七キロ上流の黒糠温泉。九十八度という高温で、江戸時代初期に発見されたといわれるが、断崖絶壁の峡谷は人を寄せつけなかった。

大正時代に入り、電源開発に伴って湯を引く構想が持ち上がる。原始林を切り開きながら、木樋を敷設。約三年の月日をかけて、宇奈月に湯が届いたのである。宇奈月温泉駅を降りると、温かい湯けむりを上げて温泉噴水が出迎えてくれる。

サアーと湯は舞い上がり、豊富な湯量を誇らしげに見せる。カランコロンとあたりを散策していた客もふと足を止め、この街の温もりにほっと心を休める。透明で豊富な温泉は、街の自慢。毎年多くの観光客が訪れ、四季折々のにぎわいをみせる。楽しい声を通りに流れ、温まるお湯と人情と山海の幸で人々をもてなす。冬も深まり、今は純白に装いを変えた山々が街を優しく見守る。ゆったりと安らぎのなかに包まれ、心が和む幸福。癒されるひとときに、雪は降り続く。

※県内五十箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などで聴きになれます。

とやまの情報お伝えします!【1月の県政番組】(11日以降) ※タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00~11:30

富山見たモン勝ち チューリップテレビ
第4日曜 10:00~10:52

14日 ふるさと探訪～大山町～

28日 暮らしを守る富山県警察!

21日 4月開校 生涯学習校

とやま県聞録 FMとやま
毎週月曜～木曜 11:30~11:40
毎週土曜 11:30~11:55

28日 とやまの公営企業

とやま超発見! 富山テレビ
フォーカス・イン2 毎週日曜 9:00~9:30

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

14日 冬の科学(小学生大会)

■新聞広報「県からのお知らせ」

21日 21世紀のテクノロジー

1月20日の朝刊各紙に掲載予定

28日 雪

■富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ

平成12年度「県政世論調査」を実施したところ、県民の皆さんが最も力を入れてほしいと思われた県の施策は何だったのでしょうか。

「社会〇〇」とお答えください。
→答えは、クローズアップを読めばわかります。

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想・入手方法を記載。あて先／〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま1月号」クイズ係 締切/1月31日(水)(消印有効)

正解者の中から10名の方に、「とやま健康パーク」の1日利用券をペアでプレゼントします。

県広報とやまの各世帯配布版は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版は、次の場所です。無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

※購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。

あて先

〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

2月号(通常版)は2月上旬に発行予定です。